



SDGsをみんな事に！

ずっと住み続けられるまちにするために

令和5（2023）年6月24日（土）、片平ふれあいセンター大会議室で2023年度片平学区ローカルSDGsプロジェクトの「SDGs！みんな事ワークショップ」の1回目の会合を行いました。

当日は片平学区連絡協議会の杉野友昭会長のあいさつに続いて、プロジェクトリーダーの千頭聡さん（なごや環境大学実行委員、日本福祉大学国際福祉開発学部特任教授）が昨年度のプロジェクトの取り組み状況を報告。「片平学区独自のSDGsのゴールを皆さんと一緒に作っていきたい」と呼びかけました。

続いて24人の参加者を4つのグループに分け「みんな事ワークショップ」を開催。グループごとに割り当てられた4つのSDGsゴールに対して、「自分たちに何ができるのか」をテーマに話し合いました。



～メッセージ～

片平学区を「ずっと住み続けたい」と思えるような魅力的な地域にしていくためには、私たち地域住民がみんなできがっつりと話し合い、いろいろと知恵を出し合って、具体的に取り組んでいくことが大切だと思っています。どんどん意見を出して、片平学区の未来を考えていきましょう。



片平学区連絡協議会・杉野友昭会長

片平学区ローカルSDGsプロジェクトとは…

片平学区を「ずっと住み続けたい」と思えるようなまちにしていくため、令和4（2022）年度にスタートしたプロジェクト。昨年度と今年度の2年間の期間限定事業で、2年をかけて片平学区独自のSDGsゴールを定め、実践していく筋道をつけるのが目標となります。

昨年度は持ち寄り型のマルシェやトークセッション、なるみ祭りへのブース出展など、さまざまなイベントを開催（参加も含む）し、市民に対しプロジェクトの内容や取り組み状況についてアピールしました。

学区の未来をがっつり議論

みんな事ワークショップでは、AグループがSDGsゴールの1～4、Bグループが5～8、Cグループが9～12、Dグループが13～16(ゴール17は全グループ)について議論をすることに。はじめに、各ゴールごとに「これまでに頑張ってきたこと」「現状と課題」「これから取り組みたいこと」などを書き込む「SDGsカルテ」を個人で作成。それをもとにグループで話し合い、それぞれのゴールに対する具体的な目標をまとめ、発表しました。限られた時間の中、「がっつり話し合おう」との呼びかけに応じ、どのグループも議論が白熱。年齢や男女の別なく真面目に語り合う参加者の姿からは、「片平学区をより良いまちにしていきたい」という熱い思いが伝わってきました。それぞれのゴールについて、各グループでまとめた意見は以下の通りです。

Aグループ

Bグループ

Cグループ

Dグループ



・困っている人を助ける仕組みを作る



・小学校で朝食の給食を
・大人食堂もあると良い



・定期的なイベント開催
・高齢者が外に出る機会を作る



・みんなで集まる勉強ができる場作り



・家事を平等にする
・噂話をしない



・安心・安全な水の確保
・水道水の水を節約



・クーラーの温度を管理
・コンセントをこまめに抜く



・ストレスを溜めない
・花で溢れるまち作り



・若者からスマホの使い方を学ぶ



・外国の方とあいさつをして関係性を作る



・移動販売の拡大
・放置自転車対策



・ごみ出しルールを守る



・小さい単位での防災訓練で意識を高める



・天白川と海が繋がっていることを身近な問題として捉える



・日頃から緑化運動に対する意識を高める



・家庭や地域も一体となって子どもを育てる



・ローカルSDGsプロジェクトの推進

◆プロジェクトのこれから

あなたの参加を待っています！

片平学区ローカルSDGsプロジェクトでは、昨年度と同様に今年度もSDGsマルシェなどのイベントを通じてSDGsの啓発活動を行うとともに住民参加型のワークショップを開いて学区独自のSDGsゴールの策定に取り組んでいきます。

ゴール策定には地域の皆さまの協力が必要不可欠です。興味のある方は参加して、片平学区のこれからについて一緒に考えてみませんか。

日程	事業内容
2023年 6月24日(土)	みんな事ワークショップ(第1回)
2023年 8月5日(土)	なるみ祭り
2023年 8月6日(日)	
2023年 8月～9月	みんな事ワークショップ(第2回)
2023年 10月中下旬	みんな事ワークショップ(第3回)
2023年 11月23日(木祝)	SDGsマルシェ
2024年 1月末ごろ	プロジェクト全体報告会

※日程は現時点での予定で、変更となる場合があります。